

「瀬谷丸」で獲れた鮭をいただきました

12月10日(木)

今年もNPO法人瀬谷丸より、大槌町の漁船「瀬谷丸」で獲れた鮭をいただき、子どもたちは給食でサーモンフライを食べました。瀬谷丸の活動や、東日本大震災で被災した人たち・地域を少しでも応援できたらという思いをもちながらおいしくいただきました。

また、読売新聞、タウンニュース、東京新聞に記事が掲載されました。



二つ橋きらきら展(校内作品展) 12月8日(火)~18日(金)

1年・2年・個別級

3年



4年・6年

5年



個人面談の日程に合わせて全校児童の平面作品と立体作品が展示されました。期間中、子どもたちも作品を鑑賞し合い、友達の素晴らしいところを見つけました。

自動検温機を 設置しています

ピアノホールと職員室前に自動検温機を設置しました。ご来校の際は、検温にご協力よろしく申し上げます。



子どもたちへの演奏会

12月7日(月)

チェロ奏者の遠藤真理さんとピアノ奏者の加藤昌則さんが学校を訪れ、音楽室で演奏会を行いました。子どもたちは楽器を間近で見たり、素敵な音色に聴き入ったりして豊かな時間を過ごしました。



瀬谷区書写・図画工作巡回展表彰

書写展や図画工作展で二つ橋小学校の代表者として選ばれた人が朝会で表彰され、6年生の代表児童が校長先生から賞状を受け取りました。がんばった友達に、周りの友達が自然と拍手を送る心あたたまる表彰の場面が見られました。



児童支援専任より



2020年は、子どもたちにとっても大人にとっても非日常の連続であり、誰もが少なからずストレスや不安を感じていたと思います。そのような環境下での体や心の変化は、正常な反応であり、ほとんどの場合時間とともに回復していくと言われています。また、

- 人との距離（2m以上）に気を付けつつ、外で遊ぶように促す。
 - 室内でできる体を使う活動時間を作る。（例えば、ストレッチタイムやダンスタイムなど）
 - 電話やテレビ電話を使って友達や家族とつながる。訪ねることができない家族にはカードや手紙を書く。
 - メディアの利用よりも家族の時間を大切にする。（日本小児科医会の提言によると、すべてのメディア（テレビ、DVD、電子ゲーム、ケータイ、スマートフォン、タブレット端末などの電子映像メディア機器）へ接触する総時間の目安は、1日2時間までとされています。）
- などは、症状の回復に効果的と言われています。（他にもたくさんあります。）

人と人の「物理的なつながり」は新型コロナの影響で絶たれている現状ですが、人と人の「心のつながり」は今まで以上に強いものにしていきたいですね。

